



建物: ~~日新~~

大生(5/20)多(多)
7号(上)本(多)安(多)
道路(多)安(多)
不(多)安(多)

・避難: 休(多) 200→400%

合計 740

平均 300

23. 4. 5

7:00 (1/2) (多) (多) (多)

生(多) (多) (多)

生(多) (多) (多)

原(40%)→(多) (1/2) (多) (多)
多(100%) (不(多) (多) (多)

・対(多)

上(多) 休(多) (多) (多)
不(多) (多) (多)

4月10日(多)

入(多) (多) (多)

web(多) (多) (多)
→(多) (多) (多)

・4月10日(多)

多(多) 7:00 (多) (多) (多)

(多) (多) (多) (多) (多)

(多) (多) (多) (多) (多)

(多) (多) (多) (多) (多)

(多) (多) (多) (多) (多)

(多) (多) (多) (多) (多)

当(多) (多) (多)

作(多) (多) (多)

市(多) (多) (多) (多) (多)

白(多) (多) (多)

主(多) (多) (多) (多) (多)

市(多) (多) (多) (多) (多)

主(多) (多) (多) (多) (多)

主(多) (多) (多) (多) (多)

【災害対策本部記録】

3月11日（金）

14:46 「東北地方太平洋沖地震」発生（震源：三陸沖 マグニチュード8.8）

※後日「東日本大震災」マグニチュード9.0に訂正

緊急地震速報（地震発生後、数分後に発報）

緊急避難指示（土樋：本館前ロータリー⇒東北大学テニスコート）

15:15 泉次長より：泉キャンパスにはけが人等がないことを確認

職員は順次帰宅させることを了解

15:40 土樋：避難場所（体育館）に移動を開始

15:55 学生安否確認システムを発動

16:00 災害対策本部を設置（本部：本館会議室）

21:00 以下の状況を確認

土樋：約350名（最終的には約400名）が体育館に避難中

※一部教職員はマイクロバスに宿泊

※備蓄品（毛布、水、乾パン）、生協の菓子類を提供

泉：約70名（学生より一般市民が多い）が1号館1階ロビーに避難中

多賀城：市の要請により、（体育館が使用不能のため）礼拝堂を避難場所に提供している。

中高：約700名が保護者を待って各教室にて待機中

榴高：生徒・教職員は全員無事、全員下校

幼稚園：園児8人が先生と一緒に保護者の迎えを待って多賀城キャンパスにて待機していたが、全員無事に帰宅

深夜：各キャンパスの避難者数を報道機関へ連絡（NHK、TBC）⇒TBCにて放送

各キャンパスの状況確認（11日現在）

【土樋キャンパス】

建物：立ち入り禁止

4号館・7号館・礼拝堂 ⇒入館危険

7号館煙突（倒壊の危険）⇒六軒丁通りを封鎖（中央警察署の許可）

水道：一部不通

電気：完全停電

ガス：完全ストップ

【多賀城キャンパス】

礼拝堂が市の避難場所（体育館：天井の照明灯の落下等により使用不可）

被災者は300名が礼拝堂にいる。

【泉キャンパス】

1号館1階ロビーに40名～100名が避難（アパート住まいの学生など）
学生1名が打撲傷で病院へ（石山職員が同行）

3月12日(土)

7:00 土樋体育館避難者に乾パン・水を提供後、一旦解散の指示

10:00 災害対策本部会議開催

1. 各キャンパスの状況報告

(1)土樋

・建物：大きなクラックが多数あり

7号館屋上ボイラー煙突落下の危険があり、道路閉鎖中
体育館以外の建物へは出入禁止中

各研究室への入室は不可との措置

・避難：体育館に約400名が宿泊

石油ストーブ40、毛布300枚＋生協の物品を提供
今朝7時に乾パンと水を提供後、一旦解散の指示
食料の確保が課題

(2)泉：約70名が1号館1階ロビーに避難 ⇒けが人はなし

(3)多賀城：約100名が礼拝堂に避難中 ⇒けが人はなし

2. 確認事項

(1)泉・多賀城各キャンパスの状況を直接行って確認する。

(泉キャンパスは柴田副委員長、多賀城キャンパスは日野総務部長)

(2)避難者への救援物資の提供を県・市に求める。

(佐々木くみ准教授、斎藤信二総務課長補佐が対応)

多賀城礼拝堂に約400名が滞在している。

(3)次回の会議を3月14日(月)10:00より開催する。

(課長以上の役職者に集合を呼びかける)

(4)本日の後期入試合格発表は、小掲示板への掲示で行う。

(HPへの掲示と個別郵送はライフライン復旧後に行う。)

※この内容をTBCにて放送依頼、約20名が見に来た。

※入学手続日25日は予定通り(延納希望者には個別対応)

(5)月曜日の行事は中止とする。

23:00 土樋キャンパスの電気回復

避難(宿泊)者数：約130名

3月13日（日）

7:00 土樋体育館避難者に乾パン・水を提供後、今晚も宿泊を希望する者を確認して解散（申出者約70名）

9:30 礼拝堂の天井落下

10:15 災害対策本部打合せ

学生部：①避難場所を体育館から8号館3階第1・第2会議室に変更する。

（体育館は清掃終了次第、閉鎖）

②今晚も宿泊の学生（申出者約70名）には、乾パンと水を提供の予定。

③学生会等の一般学生（約13名）がボランティアとして援助している。

施設部：①閉鎖中の建物（土樋）は、1・2・3・4・7・8号館、大学院等、本館（内、出入禁止は2・7号館）である。

②通電していない建物（土樋）は、5・6号館、総合研究棟、90周年記念館、図書館である。

③8号館4・5階の天井が落下している。同館6階の機械室が水漏れ。

④六軒丁通りの閉鎖は、継続中。（但し、警備員は立たない）

総務部：多賀城キャンパスの現況を日野総務部長より報告。

市の避難場所に指定されているが、市職員の対応が不十分なため、本学職員が献身的に対応しているが、疲労が伺える。

※本学備蓄品の提供（毛布、乾パン、水、灯油、ガソリン）、仮設トイレの清掃、けが人への応急手当

多賀城市役所にて市長・総務部長と面会し、きちんとした対応を要請した。

泉キャンパスの状況報告

避難者は、全員近隣の避難所（小学校）に移動した。

確認事項 1. 施設部：各建物の教員研究室の状況を確認する。（通電後の事故対応）

2. 総務部：情報システム課と広報課の職員と連絡する。（HP復旧対応）

3. 多賀城キャンパスへの支援を行う。

ガソリン・灯油の補給

交代要員の確保

4. 土樋キャンパスの備蓄状況を確認する。

10:40 栗林職員へ工学部の状況把握を依頼

11:15 永井中高校長より連絡

（現在まだ約50名の生徒が校内におり、水と乾パンの提供を依頼する）

12:00 災害対策本部打合せ

1. 総務部：情報システム課、広報課職員との連絡はまだ取れず
2. 施設部：教員研究室の状況を確認中

12:30 中高（永井校長、岩上副校長）より報告と依頼 ⇒内容は別紙のとおり

13:00 栗林職員より報告

1. 幼稚園の阿部教頭からの報告と依頼
園児は全員無事に帰宅、建物への被害はない
園長から休園（3月15日予定の卒園式の対応）の指示がほしい
2. 多賀城キャンパスの状況
礼拝堂に約400名が待機中（ほとんどは一般市民）
給水車は今日はまだ来ていない
仮設トイレ（4基）は不足（水も不足）
ガソリンは昨夜200リットルを補給（多賀城市より）
灯油はなくなっている
食事の提供も少量ではあるが、なされている
生協よりカップ麺100個を提供している

- 確認事項
1. 幼稚園教頭からの依頼を園長（理事長）に確認する。
 2. 多賀城キャンパスへの援助を行う。

17:00 災害対策本部打合せ（確認事項）

1. 土樋：キャンパスに滞在中の学生数11名（男子7、女子4）
2. 幼稚園：3月14日（月）15日（火）は休園、15日の卒園式は延期
3. 中高：3月18日（金）まで休校、19日（土）の終業式は実施
4. 榴高：3月14日（月）は休校
※18:15に2・3・4の内容をNHKにて放送依頼
5. 大学：
学生は3キャンパスとも当分の間、入構は不可
教職員（臨時・派遣職員を含む）の14日（月）の対応は以下のとおり
土 樋：出勤後、本館会議室に集合
泉：入構不可のため、自宅待機
多賀城：出勤後、礼拝堂に集合し、次長の指示に従う
次長への指示
建物は基本的に入館禁止、安全状況確認後に入館となる。安全確認の予定日は以下のとおり
土 樋：13日（日）、14日（月）

泉 : 15 日 (火)、16 日 (水)

多賀城 : 17 日 (木) 以降

どうしても私物等を取りに入室を希望する教職員には、個別に対応

17 : 40 栗林、藁科、土田 : 多賀城キャンパスへ出発

⇒土樋より救援物資を届ける (灯油 4 缶、毛布 100 枚)

⇒災害対策本部からのメッセージを届ける

学生・教職員への指示、幼稚園保護者への対応内容など

19 : 00 各建物の状況報告

1. 4・7 号館、礼拝堂に加え、押川記念ホールと 90 周年記念館ホールも立入禁止が必要

2. 佐竹氏 (施設課) より、建物診断士 (応急危険度判定士) を探すとの報告

19 : 10 栗林氏等 3 名、多賀城キャンパスより帰着

20 : 00 学生課長より : 土樋キャンパス滞在学生数 48 名 (男子 32、女子 16)

24 : 00 滞在学生数は約 10 名増えていることを確認。

23 : 00 施設課長 : 泉キャンパスより生協の物品一部を土樋に搬入

中高：3月13日（日）12：30 永井校長・岩上副校長より報告（災害対策本部室にて）

(1)地震発生後の状況

- ・地震発生は6校時終了直前（校長室で会議中）
- ・全館緊急放送で安全確保と避難(陸上競技場)を通知
⇒点呼の上、全員の避難を確認
- ・津波への対策として、校舎2階ウッドデッキで待機
⇒雪がひどくなったので、2階以上の教室で待機
- ・緊急メールで保護者へ全員の無事を通知
- ・保護者と連絡が取れ、車で迎えに来た生徒は帰宅
- ・教職員は全員けがなし、当日はそのまま滞在し、翌日から半数交替で対応

- ・1日目（11日）の宿泊者は約700名（他、寄宿舍生10数名は舎内に滞在）
⇒泉キャンパスへ援助を要請
（300名分の水と乾パンを援助）
⇒教員が自宅から水・食料・調理器（ガスボンベ等）を持参し、提供
⇒食堂（高山商事）の食材を活用（後日、業者に了解を得た）
- ・2日目（12日）の宿泊者は約85名
⇒土樋キャンパスへ援助を要請
（リヤカー2台分の水と乾パンを援助）
- ・3日目（13日）の宿泊予定者は44名
⇒50名分の貸し布団を手配し、合宿所に宿泊予定（教員2名で対応）
※残っている生徒の住所は、石巻・東松島・塩釜・名取・閑上など
⇒土樋キャンパスへ援助を要請（水90本と乾パン96缶を援助）

(2)被害状況

- ・礼拝堂と鐘楼のつなぎ目が崩落し、鉄筋がむき出し状況
- ・水道・電気・ガス・電話が不通 ⇒教員が自宅から水とガスボンベを持参し提供

(3)その後の対応

- ・14日（月）：生徒は休校（従来からその予定）
教員会議は開催する（予定通り）
- ・休校の予定：3月15日（火）～18日（金） 19日（土）は終業式（予定通り）
※公立高校は3月14日（月）～18日（金）
- ・行事の変更予定（榴ヶ岡高校と連携したい）
県公立高校の合格発表日：3月15日（火）から「22日（火）以降」に変更
高校の第2次入学手続日：3月17日（木）から「24日（木）以降」に変更

榴高：3月11日（金）18：10 久能校長より電話連絡（柴田副学長宛）

- ・生徒・教職員は全員無事 ⇒全員下校
- ・14日（月）9：00 教職員は集合（学校は当日臨時休校）

HP・報道機関を通じて周知する内容

東北学院幼稚園の保護者の皆さんへ

- ・幼稚園は、ライフラインが復活するまで休園となります。
- ・3月15日（火）の卒園式は延期となります。

東北学院中学校・高等学校の保護者・生徒の皆さんへ

- ・3月18日（金）まで休校となります。3月19日（土）は終業式を行う予定です。
- ・県公立高校の合格発表日の変更（3月15日（火）から「22日（火）以降」）に伴い、高校の第2次入学手続日は、3月17日（木）から「24日（木）以降」に変更いたします。

東北学院榴ヶ岡高等学校の保護者・生徒の皆さんへ

14日（月）は休校となります。

※教職員は、9：00 集合

東北学院大学

学生へ：3キャンパスとも当分の間、入構はできません。

教職員へ（臨時・派遣職員を含む）：

泉：14日（月）は、入構できませんので、自宅待機してください。

土 樋：14日（月）は、出勤後、本館会議室に集合してください。

多賀城：14日（月）は、出勤後、礼拝堂に集合して、次長の指示に従ってください。

次長各位へ：

1. 各キャンパスの建物の安全状況を確認してから入館となりますので、基本的に入館は禁止となります。安全確認の予定日は以下のとおりです。

土 樋：13日（日）、14日（月）

泉：15日（火）、16日（水）

多賀城：17日（木）以降

2. どうしても私物等を取りに入室を希望する教職員には、状況をみて個別に対応してください。

※土樋の備蓄状況（13日11：00現在）

乾パン	（20ケース）	480缶
ビスケットバー		105個
保存水	（115ケース）	630本

13日（日）13：30 中高へ、水90本と乾パン96缶
警備員へ、水・乾パン・ビスケットバー

3月14日（月）

7:00 8号館避難者に乾パン・水を提供後、今晚も宿泊を希望する者を確認して解散
（申出者 名）

10:00 災害対策委員会（本館応接室）

報告・確認事項

- ・ 情報システムと電話の回復
- ・ 今週の予定：すべてキャンセルするか？
 - 14日（月）G主任委嘱状交付式・G主任会議（泉）
五橋キャンパスデザイン委員会
 - 15日（火）人事委員会、法人会議、後援会事務局会議、中高団交
 - 16日（水）常務理事会、法人長期計画委員会
 - 17日（木）施設拡充委員会
- ・ 来週以降の予定：実施するか？
 - 22日（火）人事委員会
 - 23日（水）常務理事会、募金委員会、SH対策委員会
 - 24日（木）大学卒業式
 - 25日（金）中学校卒業式、非常勤講師懇談会、入試実施・管理委員会、
敬和会退職者感謝の会
 - 28日（月）仙台商工会議所との協定？
 - 30日（水）常務理事会
 - 31日（木）退職辞令交付式・懇親会、キャンパス整備基本構想委員会
- ・ 学生への緊急対応（重要度を判定のうえ）
- ・ 教職員への緊急対応
（給与等の支払い、緊急貸付の可否、多賀城キャンパスへの人的支援）
- ・ 一般職員は、入室の安全が確認された部署から、室内の片付け

3月14日（月）10時 第2回緊急対策会議報告

報告事項

- (1) 土樋キャンパス状況
 - 施設部より建物の現状について
 - 入試部より後期日程入試合格発表について
- (2) 泉キャンパス状況
 - 次長より建物の現況
 - 学生の避難状況
- (3) 多賀城キャンパス状況
- (4) 本日の対応項目
 - ・インターネット立ち上げ状況
 - ・ 電話線の回復
 - ・ 事務室清掃整理

協議事項

- (1) 今週中の予定について
 - 全ての会議・委員会は中止
- (2) 学生の緊急対応について
- (3) 教職員の緊急対応について
- (4) 各次長課長学部長への依頼事項
 - 所属教職員の安否確認をするように
- (5) 卒業式・敬和会については継続審議とする
- (6) 今後の決定事項については本部詰責任者に一任する

3月15日（火）15時 第3回緊急対策会議報告

報告事項

- (1) ホームページ（14日12時10分）・インターネット（14日11時頃）が回復した
 - ・3月14日15時更新「大震災による学校法人東北学院各校の対応について」
 - ・3月14日16時更新「在学生の皆様へ：大震災による就職課からのお知らせ」
 - ・3月14日17時30分更新「一般入試（後期日程）、社会人特別入試B日程、大学入試センター利用試験（後期）、編入学試験B日程、の合格者受験番号を公開」
 - ・3月14日19時30分更新「在学生・保護者の皆さまへ：卒業・学位記授与式中止のお知らせ」
 - ・3月15日（各校）10時更新「注意喚起：福島原発事故による備え」
 - ・3月15日（榴ヶ岡高等学校）10時更新「入学予定者の皆様へ：第二次手続きへの対応について」
 - ・3月15日13時更新「在学生・保護者の皆様へ：大震災における学生の安否確認について」
- (2) 電話回線の回復（14日12時頃）
- (3) 課長打合せ（14日13時）
 - ・土樋キャンパス事務室片づけを終了した
 - ・15日からの出勤体制および多賀城キャンパスへの応援体制を決めた
- (4) 本日の泉キャンパスの状況
 - ・建物内安全チェックを始めた
 - ・1号館・礼拝堂のコンセント抜き
 - ・生協からカップ麺等多賀城向け物資をワゴン車に積んだ
 - ・永和台町内会にプール水を供給
- (5) 本日の多賀城キャンパスの状況
 - ・3号館本館部分入室禁止（但し、附属部分は入館可能）
 - ・4号館4階は進入禁止
 - ・9号館入館禁止
 - ・体育館入館禁止
 - ・その他は建物診断結果を受け、入館可とした
 - ・礼拝堂は避難所となっている
 - ・キャンパス災害対策本部は1号館2階事務室に移動した
 - ・（15日13時10分連絡） 建物の出入について。1号館礼拝堂以外は禁止。但し、建物診断士の判定の結果を踏まえて、実験室の危険防止のため管財係の立会いの下

一時間に限って入室を許可する。特に建物の傷みの激しいのは、3号館、4号館4階、これらの入室は絶対認めない。

(6) 土樋キャンパスの状況

・建物の立入り状況の変更

4号館・7号館・礼拝堂・90周年ホール・押川記念館ホールを立入り禁止としたが、その後の調査の結果次のように変更する。立入り許可の建物は、1号館(4-5階)、本館、8号館(2-3階)、大学院棟施設課だけとする。

・煙突は重機を入れ撤去作業中。

(7) 中高・榴ヶ岡の状況

・生徒たちの避難場所を合宿所から図書室に移動した

(8) 幼稚園の状況

・閉鎖を継続している

(9) カウンセリングセンター

・土樋キャンパスの滞在の避難学生への対応を整えた

(10) 大学

・24日の卒業式を中止にした(HIPおよびプレスリリースした)

・国際交流部より(「2011年度アメリカ研究夏期留学参加者ガイダンス」29日15時開催予定は延期、ドイツトリア大学関係今晚帰国する。中国からの留学生3名のうちの1名が帰国を希望している。)

(11) 教職員の安否確認状況

(12) お見舞い来信あり

(3月14日)

・学校法人 西南学院院長 寺園 喜基先生 電話にて(庶務部長対応)

・東京電機大学 研究企画室 堀 則子様 電話にて

・東六番丁教会 長老 稲垣様 ご来室

・キリスト教学校教育同盟 電話にて(庶務課対応)

・広島女学院 手段等不明

・The Association of Christian Universities and Colleges in Asia(ACUCA)

メールにて

(3月15日)

・青山学院大学 学長 伊藤定良先生 電話にて(星宮学長対応)

・カメイ社会教育振興財団 電話にて 事務局長 片倉様

・ピョンテック大学総長のお嬢様から安否確認の電話あり(庶務課対応)

関係者一同無事、本院の建物は津波の影響は受けていないと返答

・日本私立大学連盟 出口 喜昌様

- ・青山学院大学 宗教部長 島田 先生他
- ・Franklin and Marshall College President Daniel R. Porterfield
Provost and Dean of the faculty An Steiner
- ・平澤大学 具 コンヨン先生（日本語）
- ・トリア大学 下羽 友幸先生（日本語）

(13) 新入生の住居確保対応について（生協より）。アパート予約受けていたが、立入り禁止のため対応ができない。問い合わせがあったら、学生の氏名など記録してもらいたい。ホームページにも掲載願いたい。

(14) 学生部より

- ・電話確認対応について
- ・安否確認を寄せていただきたい。

(15) 多賀城キャンパス

- ・9時より対策会議を行った。7名の応援を維持してもらいたい。現在は増員不要。
- ・10時より建物の入館の緩和を行った。入館禁止の場所には施錠した。
- ・11時平河内理事長と工学部長が多賀城市役所へ行き、市長を訪問した。避難の対応などについて話をした。
- ・被災者への食料などは自衛隊の方から適宜送られてきている。

(16) 泉キャンパス

- ・電話が通じた。問い合わせが多い。特に、新入生への対応についてホームページに掲載願いたい。
- ・東から正門までの通路を9時から10時まで職員が居る時間を通行可能としている。

(17) 財務

- ・給与支払いに関して銀行との交渉を終えた。実施詳細に関しては後日連絡する。

(18) 生協

- ・生協より一炊き出しの準備があるが、入館との関連もあるので検討願いたい。施設より一まだ、建物診断済ではないが、厨房は大丈夫かと思う。生協より一在庫を確認するために職員を入れたい。対策会議の議場より一施設課職員同伴で今すぐ確認することを許可した。生協より一調べた後、カレーは300食、おにぎりはそれ以上出食可能であることが分かった。時間や日程を定めていただきたい。施設部長より一余震などの時は注意してもらいたい。生協より一本部詰、ボランティア学生、体育館学生の人数を教えてください。生協から一対応は今すぐ始めたい。対策会議の議場一今夜は学生40名なので70人分の対応を願いたい。生協より一6時ぐらいに食事は準備できる予定である。

(19) カウンセリングセンター

- ・滞在学生へのカウンセリングを行っている。窓口は開いている。臨時職員はいない。専任カウンセラー1名森谷と職員高原と所長が対応している。教職員のメンタルヘルスが心配である。

協議事項

(1) 事後承認事項

- ・卒業式を中止とした経緯説明（斉藤副学長より）
- ・対応策について（学務からの提案、詳細は24日の項目を参照）

(2) 敬和会は中止とする。（敬和会星宮会長より提案）

(3) 来週からの行事予定について

23日（水）常務理事会（13時より）、募金委員会（延期）、SH対策委員会（延期）

24日（木）大学卒業式（中止）〔代替案（学務担当副学長と学務部長提案）：来校者へ渡す、もしくは、郵送で対応する。ホームページに掲載予定。郵送の場合、住所の把握が重要。特に、沿岸部学生の連絡先については学生部と相談する。〕

25日（金）中学校卒業式（30日に変更）、〔中高3/25終業式実施予定〕

榴ヶ岡〔3/23終業式実施予定〕

非常勤講師懇談会（中止）、入試実施・管理委員会（25日は手続き締切日、書類がなくても申し出があれば受け付ける。4月に開催したいので延期。詳細は臨時学部長会にて決定する）

緊急対策会議（15時）、臨時学部長会（15時半）、

敬和会退職者感謝の会（中止）

26日（土）「教職課程センター教育実習事前指導4」14時（延期）

28日（月）仙台商工会議所との協定（延期の方向で検討）、成績発表1.3年生／資料配布2年生（延期）、「教職センター小学校プログラム説明会」（延期）、

29日（火）工学部成績発表・教務ガイダンス（3・4年生と原級止1年生）（延期）、
「2011年度アメリカ研究夏期留学参加者ガイダンス」（延期）

30日（水）多賀城市長表敬訪問（中止）、常務理事会（実施）、工学部成績発表・教務ガイダンス（2年生）（延期）、東北学院総合ネットワーク委員会（延期）

31日（木）退職辞令交付式・懇親会（中止、感謝状などは郵送の予定）、キャンパス整備基本構想委員会（中止）

4月1日（金）新任教職員辞令交付式（参加可能者だけでも実施予定、10時、場所未定）。引き続き「給与並びに私学事業団等手続き説明会」および「学部・学科別懇談会—新任大学教育職員と大学役職者との懇談—」を開催する〔学部長の判断に委ねたい〕。

(4) 入学式について

- ・東北大学（4月22日の実施予定だが、市体育館使用不可との情報がある）
- ・入学式は中止とする。代替案は関係者で詳細を詰める。

(5) 学生安否確認情報のホームページ上での公開について（学生部よりの依頼事項に関して）。安否確認用の電話番号を設定し、適宜、対応策を構築する。ホームページ上での公開はしない。

(6) 多賀城キャンパスへの教員ボランティア組織化について。7名の有志が必要であるが、事務職員だけでなく、教育職員も参加願いたい。多賀城キャンパスに徒歩・自転車など自力で来校できる方。車で来てもガソリンの供与はない。業務命令を出し、労災適用とする。以上、教員ボランティア組織化は承認された。

(7) 学生安否確認の現状を説明願いたい（工学部長）。各情報を一元化して安否リストを作成している（学生部長）。東北大学のホームページを参照願いたい（工学部長）。東北大学のようなホームページ上での安否確認対応を検討したい（総務部長）。

(8) 星宮学長より。青山学院大学よりボランティアの申し出があった。学生部長、宗教部長、学長室長とで相談して下さい。

(9) 職員のメンタルヘルス対応として職員の勤務体制を考慮願いたい（宮城理事）。対応しているところです（総務担当副学長）。

(10) 新年度の学事行事予定など早急に公表願いたい（教養学部長）。詳細は、次回の時に報告願いたい（総務担当副学長）。

(11) 原発対応をどうしたらよいか。本日は雨でもあり職員たちの被爆が心配（教務課長）。閉鎖が必要か。継続審議とする。

(12) 耐震診断がいつ終了するかは不明。煙突は、明日撤去の予定である。

(13) 次回予定、第4回緊急対策会議 16日15時より

(14) 午後9時40分、福田教務課職員。HPで安否確認を行っていることを周知していることから、学生の親戚などから安否確認について問い合わせが学生課にたくさん来ている。どうすべきかとの問い合わせがあった。そこで、現在、安否確認（メール）がとれた学生については、問い合わせに対して「安否確認しています」との応答ではなく、「〇時〇分に返信メールがありました」との事実確認に限定する応答をすることにした。明日の会議で報告する必要あり。なお、安否確認には学生ボランティアが当たっているが、すべてを学生に任せたままでよいか、疑問がある。職員の中には、学生にこれらの仕事を任せたままでよいのかと懸念を述べるものもいる。学生に作業させつつ学生部職員による適切なコントロールが必要ではないか。

(15) 今回の大地震に対して、理事長および学長の何らかのメッセージをHPで対外的に公表する必要があると思われる。

一つは、学生に対してのメッセージ。安否確認のこと、今後の大学の対応、慌てず落ち着いた対応を求めるという主旨のメッセージ。もう一つは、学内教職員に対してのメッセージ。同じく進んでいる安否確認と共に、学生に対する教職員の対応、大学の体制を整えるために今後どう行動すべきかのメッセージ。そしてもう一つは、地域社会に対してのメッセージ。未曾有の災害を受けた中心地にある大学の、地域社会に対する公的役割の確認、協力体制のメッセージ。これらの主旨を説いたメッセージをHPに公表する必要がある。

(16) 仙台市の社会福祉協議会で、15日、災害救援ボランティアセンターの立ち上げがあった。全国各地から、今後、このボランティアセンターに専門的なボランティアスタッフが集まってくる。社会福祉協議会にかかわる本学の教員を通して、ボランティアセンターから内々の協力打診が来ている、との報告と問い合わせがあった。たとえば、スタッフボランティアへの駐車場提供、休憩所などの提供等、最低限の協力が可能かとの打診である。16日の対策会議で対応を話し合いたいとの回答を行っておいた。

3月16日(水) 15時 第4回緊急対策会議報告

報告事項

1. 新年度(4月から)の学事・行事予定について(学務部長より)

別紙参照

2. 工学部との情報交換(11:00am)

(1) 齊藤副学長から:

① TGU は、4 月下旬まで休校とする。講義関係の教務関係行事もそれまで休止する。また、平成23年度入学式も中止する(後者は、情報交換会では報告していない)。以上の情報を HP に UP した⇒【協議事項1】。

② 入試手続き関係の情報を HP に UP した⇒【協議事項2】。

(2) 総務部長から: 安否確認アドレス宛に約4300件のアクセスあり。このうち安否問合せも多数含まれている。工学部関係も百数件含まれているが、この情報は工学部長宛にメールで連絡済みである。

(3) 工学部長から:

① 10:20am 現在で工学部として安否を確認しているのは、学生:557 名、院生29名。

② 避難所の状況;

・ 昨晚の宿泊者数; 約 200 名

・ 今朝の滞在者; 約 120 名(うち約 30 名は本学学生、このうち多くの者がボランティア活動に従事)

③ 工学部としては、避難所体制を今後も継続する(多賀城市との関係から)。

⇒ 上記報告に対して、総務部長から、ボランティア学生のメンタルヘルスに留意するよう要請。

④ 今朝現在の応援職員は 6 名だが、7 名体制を維持したい。宿直は 5 名体制で行っている。

⑤ 工学部事務から、お礼とお願い、及び情報あり。

・ お礼: 泉キャンパスからの食糧支援に感謝する。

・ お願い: 対策委員会メンバーの多賀城視察をお願いする。

⇒ 本部から、佐々木学長室長が午前中に視察する旨を伝達した。

・ 情報: 多賀城周辺では、ガソリン泥棒が横行し始めている。

(4) 施設部から:

・ 7号館屋上の煙突撤去作業は、本日は足場設置、明日中に撤去する予定である。

(5) 中高から

① 3/15夜からの宿泊生徒数は全体で 11 名(高校生 10 名、中学生 1 名)である。

このうち中学生については、16 日に親と連絡がとれ、本日中に親元に引き渡す。

②3/15日に校医の山田先生が来校し、宿泊者11名の検診をしてくれた。その結果、アトピー及びアレルギー症の生徒に投薬を行う(3名)。また、軽い下痢症状の生徒1名がいたが、16日は回復して、朝食を食べた。

③宿泊している高校生10名については、いまだに親と連絡が取れていない。

(6)法人事務局から

①来年度の私大連出向について、私大連としては、本学の状況が一段落した段階でかまわないということである。

②3月分の給与支払いについて;

・給与は予定通り、振り込み手続きをする。

・給与明細は本日から、手渡し可能な職員には配布する。郵送の手続きもとるが、到着については不明とのこと。

③大成建設から依頼があり、同窓会館跡地を震災復興のための資材並びに重機等の置き場に利用したいとのこと。1から3ヶ月くらいか。⇒【協議事項3】

④大学関係事項;

・入学手続(学納金、奨学金等)の情報をホームページに情報を掲載してほしい⇒【協議事項4】

・8号館に避難している人に、入構許可証を発行したい⇒【協議事項5】

⇒暫定的措置として、法務研究科研修生1名の妻が、被災者支援要員として学外で活動し、避難所を出入りしているので、仮許可証を発行した。

(7)学生部から

①昨夜宿泊は、11名。本日、一人の親がきて、学生と対面した。その他の学生は行き場がないということで、滞在が長期化する可能性がある。

②安否確認アドレスに連絡を募っている。学生のネットワークには、重複も含め、4000件を超す情報が集まっている。

(8)泉キャンパスから

①昨日から、ユアテック等が破損箇所を目視確認をしている。

②昨日、本日で、研究室等のチェックをしている。

③破損箇所報告:

④本日午前中、石巻在住の学生が来校して、当地の状況報告をした。情報が伝わらないので、対応を依頼していった。

⑤研究室の私物等確保のため、複数人で入室することを検討中。

(9)多賀城キャンパスから

①1号館2階に本部設置。

②本日午前中に、学長に代わり学長室長が工学部を視察した。

③学長室長は多賀城市長にも挨拶した。

④宿直体制は今夜も維持する。

⑤支援物資はおおむね足りているが、灯油が不足しているので、多賀城市に要請している。

(10)学長室長：多賀城視察関係の報告

- ・礼拝堂には、約600名が避難していたという。

- ・市民文化センターにも2000人を超す避難民がきているので、礼拝堂の避難民を移動させるのは難しそうである。

(11)国際交流部長

- ・留学中の学生3名が帰国。

- ・私費留学生のうち、15名の安否を確認。

- ・4月から交換留学生としてくる予定の学生について、予定日とおりの入舎は困難であると伝えた。

(12)八幡先生から

- ・教育実習の事前説明は延期

する旨をHPにUPしてある。

(13)その他

①多賀城キャンパスの修理について、工学部教員を中心としたチームで対応することも可能かもしれない。

⇒その方向で調整する＝承認

②各種証明書発行について：

- ・学務部長報告の内容に加えて、学生に不利とならない措置を検討する＝

(14)情報システム部

- ・チームメールが開通。

協議事項

1. 上記2(1)①の報告内容が了承する。法務、法学研究科も同様とする。

2. 上記2(1)②の報告内容が承認された。

3. 上記2(6)③の報告内容につき、他社の申し入れについても柔軟に対応することが承認された。

4. 別紙財務部長からの資料参照にもとづき、理事会決定事項(2, 4)を除き、資料の各内容が承認された。

⇒被災学生に対する、各種減免については入学後に検討することも併せて承認された。

5. 原案通り承認された。発行担当は総務部で行う。別の避難所から移ってくる避難学生にも発行する。

6. 学納金の納入期限について(財務部長より)

・納入期限を延ばすこともあり得ることを承認された。

7. 新任教職員への対応について

(1)教員

・4月下旬までは休講のため、住居も含め各自で判断する。

・TGUの研究室に送る書籍については、各キャンパス宛てに送付してかまわない。保管場所はこの後検討する。⇒承認

・辞令交付式は中止する。⇒承認

・詳細は学部長又は人事課に問い合わせること。

・給与(本俸)は支払われるが、諸手当については条件確定後に決める(5月にまとめて支払う予定)。

・保険証は、旧勤務校での住所で暫定的に私学事業団に申請する予定。⇒承認

・新任教員懇談会は、中止とする。⇒学部長の同意の下、承認。

(2)事務系職員

・4月1日から出勤してもらうことが承認された。

8. 土樋キャンパスへの入構について

・通用門は、正門一箇所だけとする。車の入構は、北門5からとする。⇒承認

9. 緊急対策会議の今後のあり方について

(1)本部組織の編成

・本部はこれまで通り、本館会議室。

・17日からは、9時—17時の開設とする。

・人員体制は検討し直すことになる。

・避難学生の食事については、生協の炊き出しができる間に対応する。

・施設課職員の2名体制は維持する。

(2)学外への対応(17日以降):以下の窓口をHPにUPする。

①窓口対応時間:9時から17時まで

②対応窓口:受験生(入学予定者)・保護者=入試部入試課 022-264-6455

在学生・保護者 =学生部学生課 022-264-6471

報道機関・一般 =東北学院大学災害対策本部 022-264-6416

大学院生、科目等履修生など=学務部 022-264-6451

⇒泉キャンパス:入試(新入生)関係は上記の窓口が対応する。=承認

⇒HPだけではなく、概括的情報等を各種プレス(ラジオ、新聞、テレビなど)に情報を流す。=承認

<対策会議での補足説明等>

1. 施設部

(1)煙突撤去作業は進捗状況により遅れる可能性あり。

(2)重機、人員、燃料等の不足から、給水管の補修等が遅れる可能性がある。

2. 社会福祉協議会からTGUへのボランティア派遣協力依頼の件(学長室長から)

・阿部重樹先生に調整窓口になってもらう。=承認

3. 中高からの追加報告

① 宿泊高校生は7名となった。

② 施設関係で、中高建設に携わった前田建設から、教室の立ち入りは問題なしとの報告があった。

4. 多賀城から

① 対策会議の資料をPDFにして、多賀城まで送付してもらいたい。

5. 明日の会議は、午後3時から開催する。

3月17日（木）15時 第5回緊急対策会議報告

報告事項

1. 前回（3月16日）以降の確認事項

【※赤字は追記部分です。】

3月16日（水）19:25

幼稚園阿部教頭から電話連絡

(1) 園児143名（190名中）の無事確認、但し、自宅流失、自宅浸水、父親の会社が流された、などの被害はあり。

(2) 教職員（17名：専任及び非専任）の無事確認、但し、

3月16日（水）21:24

原口キリスト教学科長からのメール（柴田先生宛）

「青山学院大学宗教センターの東方敬信先生と同志社大学キリスト教文化センター長から、学生を引き連れて被災地でボランティア活動の手伝いをしたいという申出がありました。

学内に受け皿になるような部署や、学生の組織・グループはあるのでしょうか？」

3月17日（木）13:00頃

平河内園長から連絡：園児190名全員の無事確認

3月17日（木）13:40頃 阿部教頭から

190名全員の無事を確認

以下の内容のお知らせを報道各社、HPへ。

「平成23年度入園の保護者の皆様へ

3月25日に予定の一日入園は中止します。この日に予定の用品お渡しと、入園式については4月に入ってからお知らせいたします。」→連絡・掲載済み

3月17日（木）朝の打ち合わせ内容（工学部とはテレビ会議）

- ・土樋キャンパス南門は、通用門のみ教職員の出勤時に開門し、9時30分に閉門する。
- ・土樋キャンパス正門前テントは本日撤去する。
- ・土樋キャンパス7号館屋上煙突撤去工事は、18日まで行われる。
- ・16日の学生の宿泊者は、9名（男子5名：女子4名。）。同学生は、17日も宿泊予定。
- ・学生の安否確認は、これまで5,700件（重複除く）の連絡が来ている。メールボックスに送信されているメールのうち、未処理の約3,000件のメールを本日処理し、全体のものとは合わせる予定。
- ・大学ホームページの安否確認専用ページに、学生自身が情報を登録するアドレスと、問い合わせをする連絡先とを切り分ける。本日の早いうちにHPの更新をする。
→すでに対応済み。学生の安否についての問い合わせは総務課で対応する。
- ・大学ホームページにすべて情報を集約し、安否確認状況を取りまとめる予定。工学部独

自の安否確認情報を大学で一本化するため、工学部で把握している情報を土樋へ提供してほしい。

- ・公式窓口はそれぞれ以下のとおり。回答する際は、統一された内容で答える（例：新学期は5月連休明けになること。公式行事（卒業式、入学式、オリエンテーション）は中止あるいは延期となること、など）。
 1. 報道機関、一般問い合わせ → 災害対策本部
 2. 受験生、保護者対応 → 入試課
 3. 在学生（大学院含む）、保護者対応 → 学生課、教務課
 4. 安否確認の問い合わせ → 総務課
- ・本日、土樋キャンパス施設の点検に、竹中工務店の3名が来学予定。
- ・来週以降の職員の出勤については、17日15時の災害対策委員会終了後に課長職で集まり、検討する。

○多賀城市からの要請

「16日に多賀城市役所上水道部管理課より、給水車支援に関する緊急ボランティアの要請があった。同部が水道管の復旧に着手することにより、人員が足りなくなることが考えられるため、工学部で判断し、受け入れることとした。現在、12名の学生から申し出があり、彼らを市役所へ派遣する（全体で20名ほどを募集）。」→市役所に紹介する。
と訂正する必要がある。

→網掛け部分の対応について、工学部了承。

【窓口】多賀城市上水道部管理課

- ・17日9時現在、6名の職員が応援に来ている。多賀城キャンパス各係の支援に3名、ほか3名は避難所の支援にあたる。⇒全員、多賀城キャンパス近隣の職員であり、次週以降も多賀城での勤務を希望している。
- ・多賀城キャンパスの宿泊者は、17日0時現在で約150名（うち学生9名）。また、多賀城市文化センターに10名の学生が避難している。
- ・多賀城市より食料250名分、灯油18Lタンク7缶が配給され、仮設トイレ6基の汲み取りをもらった。
- ・建物の被災状況の調査を、遠藤工学部長と学長室長とが相談し、環境建設工学科教員を中心に建物の被災状況の調査するチームを組織することとしていたが、本日からその作業にあたる。

○お見舞い電話 広島修道大学 市川太一学長から、

震災のお見舞いと学生（含む留学生）の受け入れの用意があるので検討して欲しい、とのこと。

2. 各キャンパス・各学校・各部署より

(1) 泉キャンパス

- ・本日から教職員が出勤し、キャンパス内の建物等に各種掲示を行った。また、情報処理センターの復旧を行った。なお、泉キャンパスの被災状況を調査し、その結果が提出されている。

(2) 多賀城キャンパス

・安否確認結果（17日9時現在）

- ・学部学生：2,097名中698名確認済み
- ・大学院生：62名中32名確認済み

※すでに土樋キャンパスに情報を提供し、全体の数に集計中である。

- ・研究生：1名確認済み
- ・教員1名、職員1名の安否確認ができていない。
- ・建物の被災状況調査チームは、代表者の吉田望先生を中心に、7名の教員で調査計画を検討中である。
- ・避難所については、現在約80名が滞在している。また、給水車が来たため、約50名が来学した。

(3) 各学校（中高、榴ヶ岡高校、幼稚園）

- ・中高は17日に電気が通じるようになった。
- ・榴ヶ岡は建物の被災状況を調査中である。ライフラインはすべて未開通。

(4) 学務部

- ・証明書の発行については、入校許可が出ないと発行できないため、問い合わせがあった場合は、その旨を連絡する。

(5) 学生部

- ・土樋キャンパスの避難所は、17日現在女性が2名増えた（合計11名：男子5名：女子7名）。生協から炊き出しを受けているため、安定した状況が続いている。
- ・安否確認は、約5,700名が確認済みである。まだ約3,000通のメールが未開封であり、学生側でも1,000件メールを受信している。作業が進めば約7～8,000件まで集計できると考えられる。これ以外の学生は、電話確認等が必要になるだろう。
- ・各ゼミの学生などの情報も集めていただき、学生部や公式のメールアドレスに情報提供してほしい。

(6) 入試部

- ・さまざまな問い合わせがきているが、慎重に対応する。場合によっては、入試部長の判断で回答する。
- ・「入学手続き完了者の安否確認」について、現在の安否確認とは別に行う必要はあると考えている。

(7) 施設部

- ・17日に多賀城・泉両キャンパスの建物の被災状況の調査を行った。施設部で各キャンパスに対して建物ごとに指示を出しているが、万が一に備えて、この指示に従ってほしい。

(8) 法人事務局

- ・学生への対応は始まっているが、教職員の罹災者への対応策について、具体的に見当していきたい。

(9) その他

1. 広報部

- ・プレスリリース等の情報は、滞りなく提供している。
- ・本学の情報をインターネットで検索する際、検索キーワードによっては必要な情報がヒットしない場合がある。現在、「大震災」という語句を使っているが、より簡易なキーワードにしたい。
→広報部で対応を検討する。

2. 国際交流部

- ・本日新たに8名の留学生の安否が確認され、合計で27名中24名の安否が確認された。
- ・5月の夏期講座・30周年記念行事は、開講が不可能であると判断し、平成23年度は中止とすることが了承された。

3. 情報システム部

- ・17日現在、土樋キャンパスのメール、統合事務システム、ネットワークは暫定的に復帰し、サーバーも安定稼働している。今後の対応のために、1号館4階事務室の鍵、8号館1階の情報処理センターの鍵を使用したい。
→鍵の使用について、施設部から警備室に連絡する。
- ・サーバー室の湿度管理について、17日・18日に泊り込む職員が検討を進めるが、来週からは情報システム部で対応できるものと思われる。

4. その他

- ・ホームページ掲載中の教職課程関係の情報について、日程の誤りがあったので訂正する。
- ・多賀城キャンパスに出勤している教職員、宿泊者の食事はどうなっているのか。
→大学生協から提供してもらっている。
- ・多賀城キャンパスへの運送手段が確立すれば、炊き出し（おにぎりやカレー、お弁当など）を土樋から運送できる。
→ぜひお願いしたい。夕食は宿直者（7名）のみでかまわない。
- ・輸送手段は、別途協議する。

協議事項

1. 新司法試験への会場提供について

- ・本試験及び予備試験含め、平成23年度は会場提供しないこととする。

2. ホームページを確認できない教職員・学生等への対応について

- ・当該教職員・学生等への情報伝達について、大学で原稿を準備し、岩手、宮城、福

島各県の地方ラジオ局で放送してもらえないか交渉中である。放送料が発生する場合を、広報課で調査中である。

→現在交渉中だが、料金が発生する放送は実施していないということである。

- ・携帯でも情報を確認できるような形態を検討中である。
- ・教職員のメーリングリストは、3キャンパスのシステムが復旧してからになる。

→本日、多賀城・泉両キャンパスのネットワーク、メールシステムは稼動している。

18日に泉キャンパスのTV会議システムを準備し、今後3キャンパスで会議を行えるようにする。

3. その他

- ・新年度の役職者交代について、当分の間は新旧の役職者が連携して業務にあたる。
- ・平成23年度4月の職員異動について、実際の異動は6月に行う。新規採用者は、4月から各部署に配属させることとし、課長の指示に従うこととする。
- ・現在まで、安否確認システムはすべて受身になっており、集まりが遅いため、大学側（教職員）から問い合わせを行う必要がある。職員については特に情報が少ないため、数字を出す必要がある。
- ・学生の安否確認について、すでに集まっている5,700名分の情報と、現在確認中4～5,000通分の情報の照合を一両日中に行う。このデータは対策委員会で提供し、確認が取れていない学生については、大学側から問い合わせすることにしたい。
- ・現在、一時的に建物に入館させているが、二次災害防止のため、当面の間、入館を控えてもらいたい。

4. 今後の予定

- ・18日9時から打ち合わせを行う。
- ・18日は9時から17時まで、本部業務を行う。本部責任者は、午前は佐々木哲夫宗教部長が、午後は斎藤誠学務担当副学長が担当する。
- ・19日から21日は、本部業務を行わない。ただし、宿泊している学生の対応は継続して行う。本部閉鎖中は、週明けに連絡してもらう旨の留守番メッセージを流す。
- ・22日午前中の本部責任者は、柴田総務担当副学長が担当する。
- ・22日15時から災害対策委員会会議を行う。
- ・23日の本部責任者は、午前は、佐々木俊三学長室長が、午後は中川図書部長が担当する。
- ・火曜日以降の本部責任者体制は、週明け以降に検討する。
- ・本部閉鎖中は、出勤している各セクションの職員から、1名代表者を決め、緊急の際は柴田先生に連絡を取る。まずは、残るメンバーがどこに相談するかを確立させたい。
- ・多賀城キャンパスは、19日から21日の間も継続して本部業務を行う。この期間中に何かあった場合の対応は、多賀城キャンパスで判断する。